

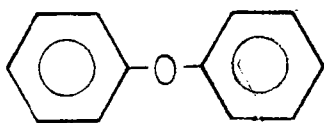
ジフェニルエーテルの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和52年6月27日～昭和52年8月3日

2. 試料名 ジフェニルエーテル(試料No-249)

分子式 $C_{12}H_{10}O$

構造式



性状 融点 27.0℃ 純度 99.9%以上

沸点 259.3℃ 比重 1.074

(提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環保業第 5号

業 発第615号 微生物等による化学物質の分解度試験による

49基局第392号

揮散性物質用クロメーター使用

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

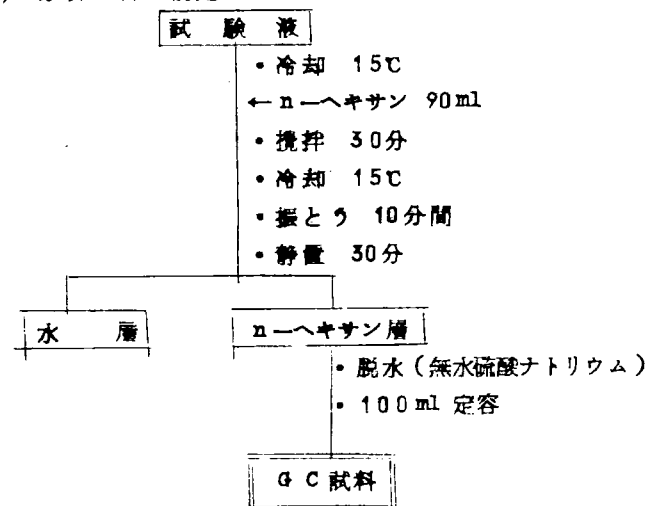
3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ(GC)検出器FID

キャリアガス N_2

充てん剤 10%SE-30/クロモソルブW

ステンレスカラム 3mmφ×1m

カラム温度 220℃

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	6.3	1	—
G C による 結 果	※(-)	2, 3	1

※ 負の値を得たので(-)とした。

5. 備 考

供試物質は液体であるため28μl(比重1.07)採取して試験に供した。

クロメーターへのセット状況は仕込時小さな粒となり培養ビン
の底へ沈んだ。終了時においても変化はなかつた。

以 上